



菊池っ子だより

vol.48

市内の各小中学校で行われているさまざまな取り組みをピックアップしてご紹介します。

問い合わせ先 学校教育課 ☎0968(25)7231

七城中学校

全 7月2日 校生徒で田植え



植える前の苗をみんなで点検しました



3年生は中学校最後の田植え



足下を馴らしながらの作業

学校で育てたヒノヒカリともち米を、全校生徒で約3反の学校田に植えました。生徒は「植えるのは大変だったけれど、達成感を味わえた」「お米を食べることができるのは農家の人たちの苦勞があってこそ。感謝したい」などと話しました。10月には稲刈り、12月には餅つきを行う予定です。

泗水中学校

公 7月4日 開授業で人権学習



公開授業のあとは、見学者が意見を交換しました



人権について真剣に話し合いました

他校の教師を対象に、人権学習の公開授業をしました。1年生は自分自身を語り、互いを知り合う授業をしました。2年生は自分の差別心について振り返り、3年生は進路公開に向けて今の自分の悩みなどを語り合いました。どの学年も自分の思いを語り、他者を認める大切さを学んだ授業でした。

泗水西小学校

梅 5月6日 を収穫。おいしくなあれ!



地域住民に教えてもらいながら楽しく作業



丁寧にシソもみ。完成が楽しみです

校内の梅の木から実を収穫し、梅ジュースと梅干しを作りました。毎年の恒例行事として続けているもので、豊作に恵まれた今年は5・6年生が大梅を収穫。ジュース作りを1・2年生が担当し、梅干しのシソもみは3・4年生が行いました。ジュースや梅干しが出来上がるのを児童は心待ちにしています。

菊池北小学校

地 6月15日 域とともに赤米の田植え



地域住民やJA、土地改良区、迫間支館長ら多くの人が参加



みんなで列になって田植えをしました

5年生が赤米の田植えをしました。晴天に恵まれる中で児童らは苗を植え、農作業は無事に終了。赤米の田植えは、同校が平成19年度から交流している福岡県大刀洗町の菊池小学校から種もみを譲ってもらったことから始めたものです。秋の収穫を児童たちは楽しみに待っています。

花房小学校

体 6月19日 カづくりで交流も活発に



的当てで楽しく体づくり



楽しいバトンスロー

児童の体育委員会が月に1回のペースでさまざまな運動を企画しています。スーパー50競走大会では全児童のタイムを毎回測定し、成長を記録。陣取りやドッジボール、鬼遊びなど遊びながら楽しく体力をつけています。上級生は下級生に優しく教え、花房小の伝統として受け継がれています。

市内3高校の魅力伝えます!

高校魅力化全力通信

vol.5

今月は 菊池農業高校
問い合わせ先 ☎0968(38)2621

農業高校生の甲子園 3部門で優秀賞受賞!

6月20日と21日に県内の農業関係高校12校が集まり、学校農業クラブ連盟年次大会が玉名市民会館で開催されました。大会では意見発表3部門とプロジェクト発表3部門を実施。意見発表部門は高校で学んだことや体験したこと、将来の夢や目標について壇上で披露しました。プロジェクト発表部門は、農業生産や経営、地域課題の解決に向けて1年間取り組んできた研究成果を挙げ、審査が行われました。

【意見発表部門】優秀賞
▼畜産科学科3年 緒方野々花
発表内容 生命を伝える

【プロジェクト発表部門】優秀賞
▼畜産科学科3年 戸塚蒼依、松岡和希、日野優季、財部匠、羽野拓馬、東翔大
▼畜産科学科1年 大山理子、道上静羅、中西菜月、坂本千晴
発表内容 生命の牛乳 Part II
〜安全・安心な牛乳生産を目指して〜
▼農業科3年 樋口陽介
▼農業科2年 高村吉伸、磯田優心
発表内容 命と文化が光る、笑顔の里づくりを目指して
〜地域資源の発掘と、新たな農村経済のしくみづくり〜

意見発表部門で優秀賞を受賞した緒方さんは「とても緊張しましたが、自分なりに発表を楽しむことができました。また、他の学校の生徒の発表を聞くことができ、勉強になりました」と笑顔で振り返りました。



生命への思いを熱弁



スクリーンを使ってプロジェクト発表

まんまキッズフェスタ

7月7日にJA菊池と連携し「田植え体験会」を開催しました。この日は、先生役の農業科3年生の指導の下、約80人の子どもたちが本校の水田で田植えを体験。前日までの雨も上がり、子どもたちは元気な声を出して笑顔で歩いていました。「初めはベタベタして歩きにくかったけど、気持ち良かった!」「秋の収穫が楽しみ!」とみんな楽しんでいました。10月には収穫体験会も開催します。



苗の植え方の説明のあと、田植えを始めました。泥んこになりながら田植えを楽しみました

保育士出前講座

6月22日に菊池郡市の保育士2人が来校。生活文化科の3年生24人に保育士の仕事について講話しました。園児の心を解きほぐす「つるまき体操」や園での生活、保育士の仕事内容、おもちゃの紹介など、生徒たちに分かりやすく説明。保育園で担任をした生徒と久しぶり

くまもと県版GAP認証に向けて

本校は「くまもと県版GAPモデル農業組織」として県農林水産部に選ばれ、来年2月の認証取得を目指しています。正しく管理された環境の中で、高品質で安全な農作物を生産している事を県や国が証明するGAP(農業生産工程管理手法)。7月13日にはアドバイザーを招き、講義と現地視察を実施しました。今後も講習会を開催する予定です。



手遊びの教え方を、保育士から教わりました

の再会もあり、最後まで和やかな雰囲気でした。7月4日には今回学習したことを生かして、富原保育園で実習に参加しました。